

令和6年度公共事業 再評価諮問箇所個別資料

道路課 道路事業 5件

1 公共事業再評価諮問箇所一覧表、B/Cの考え方

P1~

2 個別事業箇所資料

- ・ 公共事業再評価諮問箇所「継続」理由書等
- ・ 再評価対象事業箇所調書
- ・ 個別箇所説明資料

① 道路事業（国道204号(松島)）

P5~

- ② 道路事業（佐賀川久保鳥栖線（菅生））
P13～
- ③ 道路事業（国道444号（佐賀福富道路））
P20～
- ④ 道路事業（佐賀外環状線（徳万南））
P29～
- ⑤ 道路事業（佐賀環状東線（牛島））
P37～

令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

道路課

令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

No.	事業種別	事業箇所 (路線名)	事業年度 (上段:前回) (下段:今回)	進捗率 (上段:前回) (下段:今回)	対応方針
1	道路改良事業	国道204号 (松島工区)	R5~R7 R5~R10	— 3%	継続
2	道路橋りょう補助事業	佐賀川久保鳥栖線 (菅生工区)	H25~R6 H25~R8	85% 87%	継続
3	道路改良事業	国道444号 (佐賀福富道路工区)	H13~R7 H13~R10	90% 91%	継続
4	道路橋りょう補助事業	佐賀外環状線 (徳万南工区)	H25~R7 H25~R7	82% 92%	継続
5	道路整備交付金事業	佐賀環状東線 (牛島工区)	H12~R6 H12~R7	79% 94%	継続

【整備系】道路事業(広域) 高規格道路

事業の目的

交通混雑の緩和や緊急輸送道路としての機能確保のほか、広域的な地域間の連携強化及び交流促進による地域の発展に寄与する交通環境の創出を図る。



○整備事例(有明沿岸道路)



佐賀福富道路(芦刈南IC~福富IC) R3.7.24開通

【整備系】道路事業(広域) ICアクセス

事業の目的

高規格道路の整備と一体的にアクセス道路を整備することで交通・物流拠点から高規格道路へのアクセス性を高め、円滑な交通環境の創出を図る。



※国土地理院の地理院地図に加筆したものである。

○整備事例(鳥栖朝倉線)



県道鳥栖朝倉線(小郡鳥栖南スマートICアクセス道路) R6.3.17開通

【整備系】道路事業(一般改築)

事業の目的

交通渋滞が発生している道路、幅員が狭い道路等について、道路の新設や拡幅を行い、交通の円滑化を図る。

整備前



整備後



【整備系】道路事業(交通安全)

事業の目的

歩道整備や交差点改良を行うことで、歩行者・自転車利用者の安全性の向上及び交通の円滑化を図る。

整備前



整備後



道路事業のB/Cの考え方

○総便益(B)：道路整備によって得られる便益

(内訳)

- ・**走行時間短縮便益** 整備による走行時間の短縮効果を費用に換算
- ・**走行経費減少便益** 整備によって走行条件が改善されることによる走行経費
(燃料費、車両整備費等)の低下
- ・**交通事故減少便益** 整備による交通事故の社会的損失の減少額

○総費用(C)：道路整備及び維持管理に要する総費用

(内訳)

- ・**道路整備に要する事業費** 工事費、用地費、補償費等にかかる費用
- ・**道路維持管理に要する費用** 橋梁・トンネル等の道路構造物の点検・補修、
巡回・清掃等にかかる費用
- ・**道路構造物の更新に要する費用** 橋梁等の構造物の更新にかかる費用

○費用便益比：総便益(B)/総費用(C)

※便益と維持管理費は、供用開始後50年間で算定

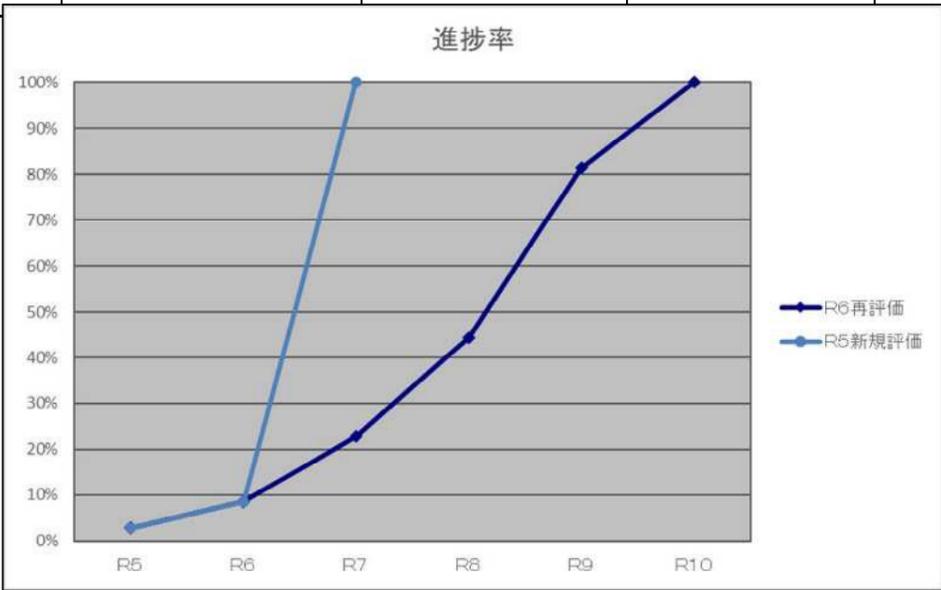
令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

(課名：道路課)

事業名 (路河川等名)	道路改良事業 一般国道204号(松島工区)
継続・中止理由	<p>○都市計画道路大坪木須線の開通に加え、西九州自動車道の伊万里中 IC(仮称)が開通した場合、アクセス道路として更なる交通量の増加が見込まれる。</p> <p>○事業の継続により、「交通の円滑化」「安全性の向上」「アクセス性の向上」が図られる。</p> <p>○費用対効果は、$B/C=1.0(2.5)$を上回っている。</p> <p>○事業進捗率は事業費ベースで約3%[約0.2億円/約7.0億円](令和5年度末)であり、用地進捗率は100%である。</p> <p>○国道204号期成会においても早期完成が望まれており、今後の円滑な事業執行が期待される。</p> <p>以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。</p>
B/Cの算出方法	<p>【便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 15.9億円 ・ 走行経費減少便益 = 2.6億円 ・ 交通事故減少便益 = 0.3億円 合計 = 18.9億円 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 6.4億円 ・ 維持修繕費 = 1.1億円 合計 = 7.5億円 <p>費用便益 $B/C = 18.9 / 7.5 = 2.5$ (社会的割引率4%)</p> <p>【参考値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 費用便益 $B/C = 3.5$ (社会的割引率2%) 費用便益 $B/C = 4.2$ (社会的割引率1%)
備考	

令和 6 年度再評価対象事業箇所 (佐賀県公共事業評価実施要領第 2 条 (2) ②に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
R 5 新規評価 時点	道路改良事業 一般国道 国道204号 (松島工区)	事業主体：県 事業地： 伊万里市木須町～ 伊万里市二里町	一般国道204号は、佐賀県唐津市を起点として東松浦半島を循環し、伊万里市を経て長崎県佐世保市に至る幹線道路である。当該箇所周辺は伊万里市都市開発事業により商業施設が進出しており、加えて都市計画道路大坪木須線の開通や西九州自動車道の伊万里中IC(仮称)が開通予定である。そのため、自動車の交通量が増加することが見込まれることから、整備を行うことで安全で円滑な交通を確保することを目的としている。	全体事業費： 6.0億円 工期：R5 ～R7 工事内容 延長 L=0.8km 幅員 W=15.0(25.0)m 改良工 L=0.8km 舗装工 L=0.8km 測量試験 一式 補償費 一式	—	—	B/C=3.1 (社会的割引率4%)	現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用	—	—
R 6 再評価 時点				全体事業費： 7.0億円 工期：R5 ～R10 工事内容 延長 L=0.8km 幅員 W=15.0(25.0)m 改良工 L=0.8km 舗装工 L=0.8km 測量試験 一式 補償費 一式	○R5末進捗率：3% (事業費ベース) (年平均進捗率 約3%) ○用地補償契約率：100%	事業箇所周辺では、商業施設の立地が進んでおり、来店者が増加している。 また、西九州自動車道の伊万里中IC(仮称)の整備により、さらなる交通量の増加が見込まれるため、依然として事業費必要性は高い。	事業費増に伴う費用の増 B/C=2.5 (社会的割引率4%) B/Cは1.0を上回っている 【参考値】 B/C=3.5 (社会的割引率2%) B/C=4.2 (社会的割引率1%)	(コスト削減) ・再生資源の利用促進を図る。 ・他工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) 特になし	国の再評価実施要領等で定められた県が実施する再評価	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・B/Cは1.0以上(2.5)が確保されている。 ・用地買収も完了しており、今後も円滑な事業遂行が確保されている。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。
理由等				(事業費) ・建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (工期延長) ・建設発生土受け入れ時期の調整に伴う事業期間の延伸						



令和6年度 再評価委員会

道路改良事業

まつしま
一般国道204号（松島工区）

きす にり
伊万里市木須町～二里町

再評価理由

国の再評価実施要領等で定められた
県が実施する再評価

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部 道路課

位置図



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業目的

西九州自動車道へのIC
整備により交通量が増加



現道拡幅（2車線→4車線）により

交通の円滑化

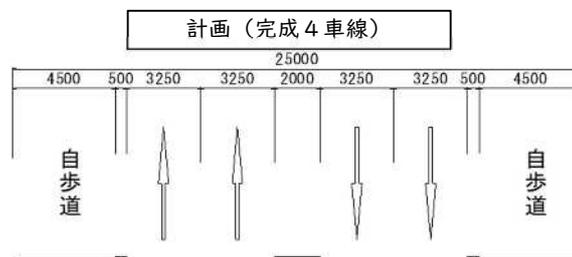
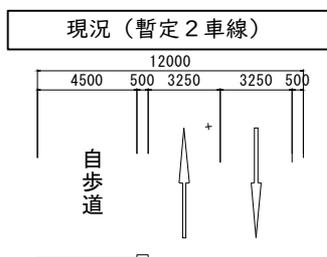
安全性の向上

アクセス性の向上

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

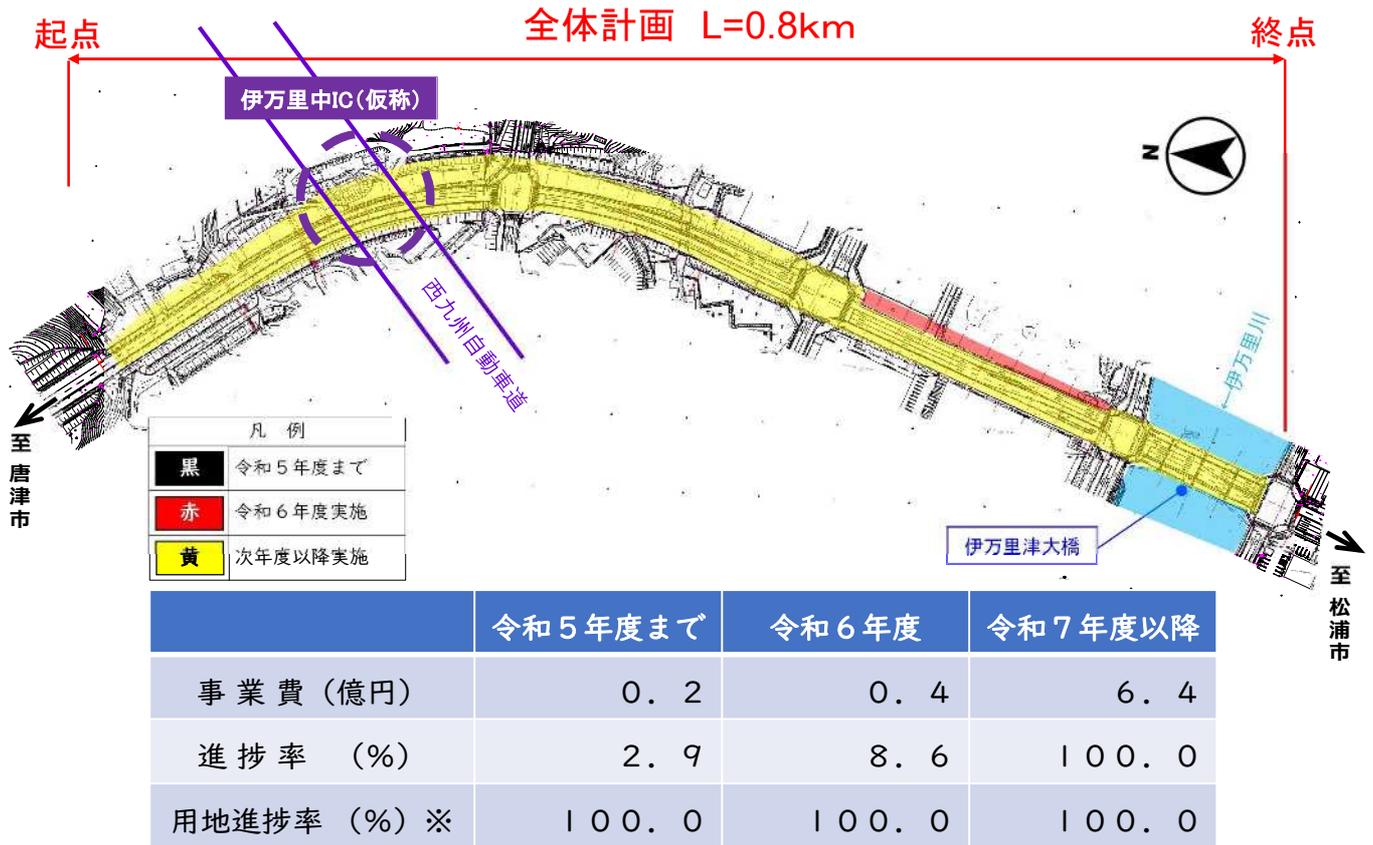
事業概要

	当初（令和5年度）	今回
全体事業費	6.0億円	7.0億円
工期	令和5年度～令和7年度	令和5年度～令和10年度
延長	0.8 km	0.8 km
幅員	15.0（25.0）m	15.0（25.0）m
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 改良工 L=0.8 km 舗装工 L=0.8 km 測量試験 一式 補償費 一式 	<ul style="list-style-type: none"> 改良工 L=0.8 km 舗装工 L=0.8 km 測量試験 一式 補償費 一式
費用対効果	3.2	2.5



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業の進捗状況



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

※面積ベース

事業内容の見直し理由

(事業費の増額)

○建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (+1億円)

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由

(事業期間の延伸)

○建設発生土受け入れ時期の調整に伴う事業期間の延伸

当事業の盛土材は、近隣の切土工事の発生土を流用する予定であり、供給側工事との工程調整により、事業期間の延長が必要となったため



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

現地状況

木須東伊勢越交差点から起点を望む



木須東伊勢越交差点から終点を望む



大型車通行状況



大型車通行状況



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業を巡る社会経済情勢等の変化

○事業箇所周辺では、商業施設の立地が進んでおり、来店者が増加している。
また、西九州自動車道の伊万里中IC（仮称）の整備により、さらなる交通量の増加が見込まれるため、依然として事業の必要性は高い。

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

費用対効果

○B/Cは1.0を上回っている

$$\text{費用対効果 (B/C)} = \frac{\text{総便益 (B)} \quad 19.0 \text{ 億円}}{\text{総費用 (C)} \quad 7.5 \text{ 億円}} = 2.5$$

※社会的割引率4%

【参考値】

$$\begin{aligned} \text{【社会的割引率2\%】費用対効果 (B/C)} &= 3.5 \\ \text{【社会的割引率1\%】費用対効果 (B/C)} &= 4.2 \end{aligned}$$

※基準年（令和6年度）における現在価値

<参考>

○総便益 (B) = 走行時間短縮便益 + 走行経費縮小便益 + 交通事故減少便益
○総費用 (C) = 事業費 + 維持管理費 + 道路構造物の更新費

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図る。
- 他工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

対応方針(事業課案)

- 道路の整備により「交通の円滑化」「安全性の向上」、西九州自動車道へのアクセス性の向上が期待される。
- 費用対効果についても、B/C=1.0以上(2.5)が確保されている。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約3%[約0.2億円/約7億円]
(令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は100%となっている。



事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

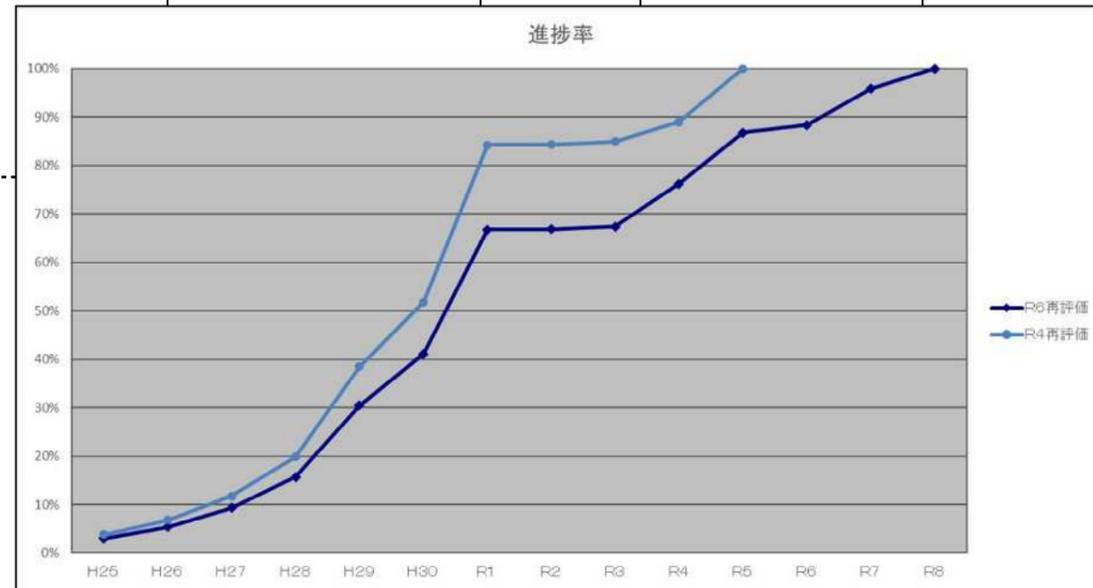
(課名：道路課)

事業名 (路河川等名)	道路橋りょう補助事業 主要地方道佐賀川久保鳥栖線(菅生工区)
継続・中止理由	<p>○歩道設置により、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上が図られることから、事業の必要性に変わりはない。</p> <p>○事業進捗率は、事業費ベースで約87% [約8.4億円/約9.7億円](令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は約98%(面積ベース)となっている。</p> <p>○要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。</p> <p>以上のことから、当事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。</p>
備考	

令和 6 年度再評価対象箇所
(対象：令和 4 年度再評価実施箇所)

(佐賀県公共事業評価実施要領第 2 条 (2) ④に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)		
R4 再評価 時点	R4 再評価 時点	道路橋りょう補助事業 主要地方道 佐賀川久保鳥栖線（菅生工区） 事業主体：県 事業地：神崎市 神埼町城原	当路線は、佐賀市を起点として神崎市を経て、鳥栖市に至る、広域交流、物流の促進、沿線市町の連携強化を図る主要地方道である。 当該区間は、通学路（仁比山小学校）に指定されているが、歩道が未整備となっている。 このため、交通の円滑化及び歩行者の安全性の向上を目的として、整備を実施するものである。	全体事業費：7.7億円 工期：H25～R6 工事内容： 延長 L=880m 幅員 W=6.5(13.0)m 改良工 L=880m 舗装工 L=880m 橋梁工 N=1基 測量試験 一式 用地補償 一式	R3末進捗率：約85% (事業費ベース) (年平均進捗率：約9%) ○用地補償契約率：約98% (面積ベース)	自動車交通量や自転車歩行者数が多く、尚も通学路として利用されており、事業の必要性に変化はない。	-	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図る。 ・工事で発生する残土を他工区の盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	事業採択後10年を経過するため再評価	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。		
				R6 再評価 時点	R6 再評価 時点	全体事業費：9.7億円 工期：H25～R8 工事内容： 延長 L=880m 幅員 W=6.5(13.0)m 改良工 L=880m 舗装工 L=880m 橋梁工 N=1基 測量試験 一式 用地補償 一式	R5末進捗率：約87% (事業費ベース) (年平均進捗率：約9%) ○用地補償契約率：約98% (面積ベース)	自動車交通量や自転車歩行者数多く、尚も通学路として利用されており、依然として事業の必要性は高い。	-	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図る。 ・工事で発生する残土を他工区の盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	前回再評価時より工期延長及び事業費増額のため再評価	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・用地進捗率は約98%であり、今後も円滑な業務遂行が確保されている。 ・要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。
				理由等	理由等	(事業費の増額) ・建設資材の高騰及び労務費上昇による増 ・橋梁拡幅工の現道規制を回避するため施工方法、機材等見直しによる増 (工期の延伸) ・用地交渉難航に伴う事業期間の延長						



令和6年度 再評価委員会

道路橋りょう補助事業

主要地方道 さが かわく ほと す す ごう
佐賀川久保鳥栖線（菅生工区）

かん さき かん さき じょう ばる
神崎市神埼町城原地内

再々評価理由

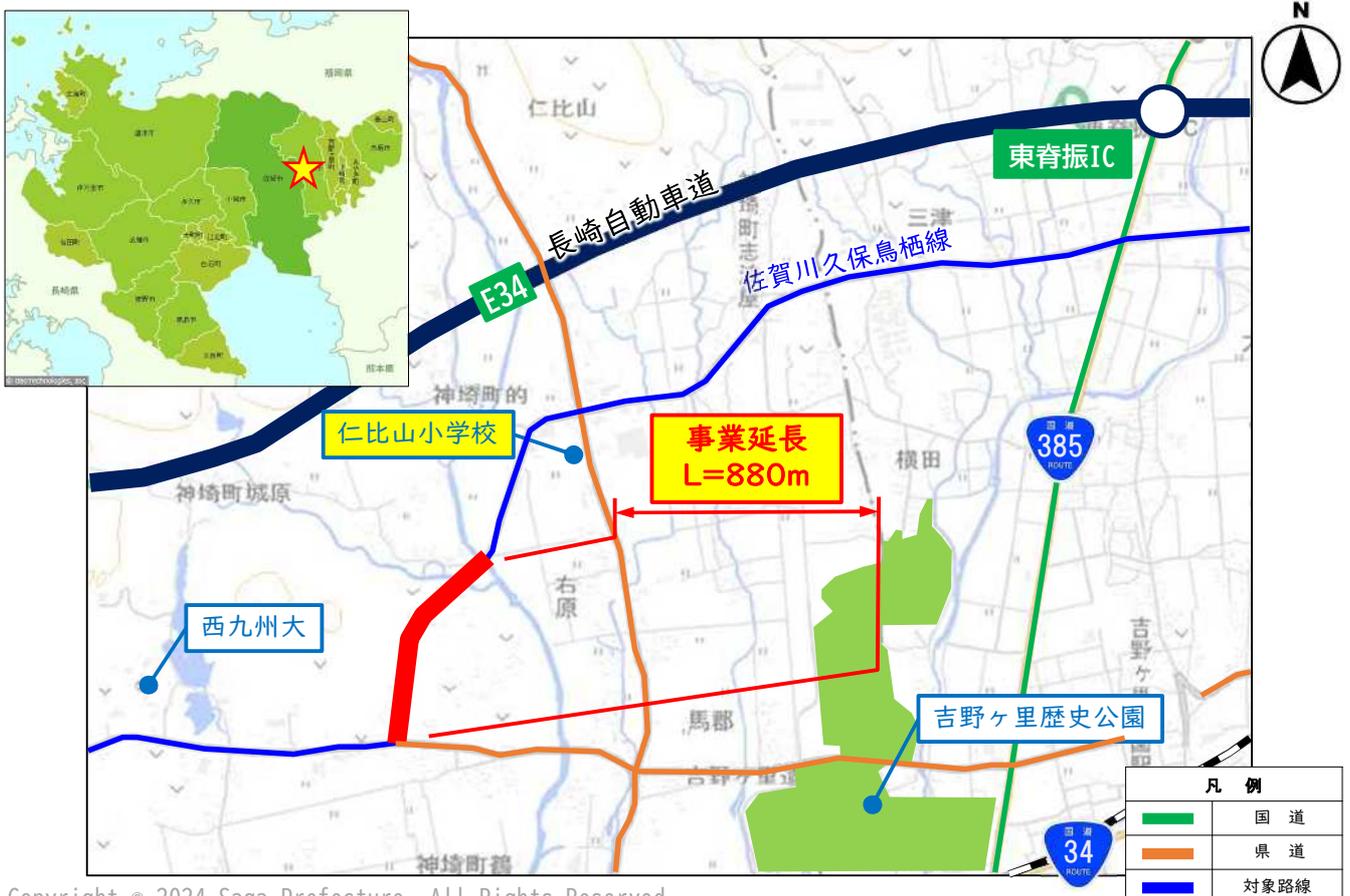
再評価実施後5年が経過する前に工期延長及び
事業費を増額するため

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部 道路課

位置図



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業目的



歩道の整備により

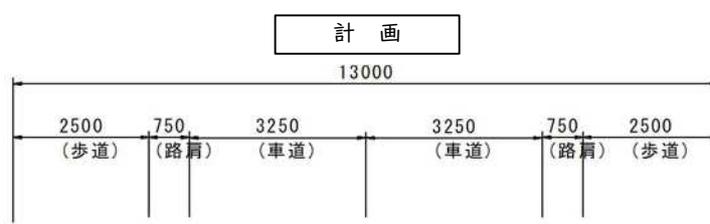
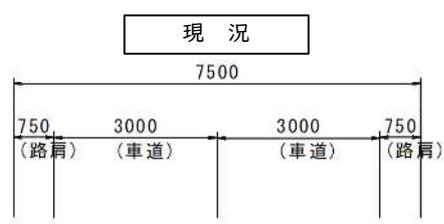
交通の円滑化

安全性の向上

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

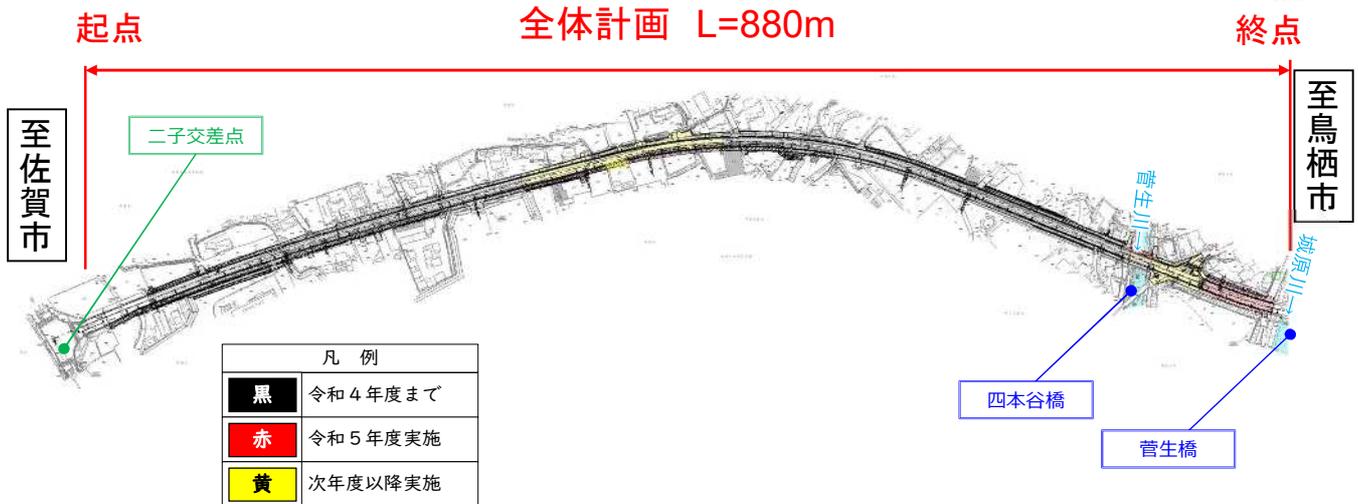
事業概要

	前回 (令和4年度)	今回
全体事業費	7.7億円	9.7億円
工期	平成25年度～令和6年度	平成25年度～令和8年度
延長	880m	880m
幅員	6.5 (13.0) m	6.5 (13.0) m
事業内容	<ul style="list-style-type: none">改良工 L=880m舗装工 L=880m橋梁工 N=1橋測量試験 一式用地補償 一式	<ul style="list-style-type: none">改良工 L=880m舗装工 L=880m橋梁工 N=1橋測量試験 一式用地補償 一式



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業の進捗状況



凡 例	
黒	令和4年度まで
赤	令和5年度実施
黄	次年度以降実施

	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費 (億円)	8.4	0.1	1.2
進捗率 (%)	86.5	87.6	100.0
用地進捗率 (%) ※	97.6	97.6	100.0

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

※面積ベース

事業内容の見直し理由

(事業費の増額)

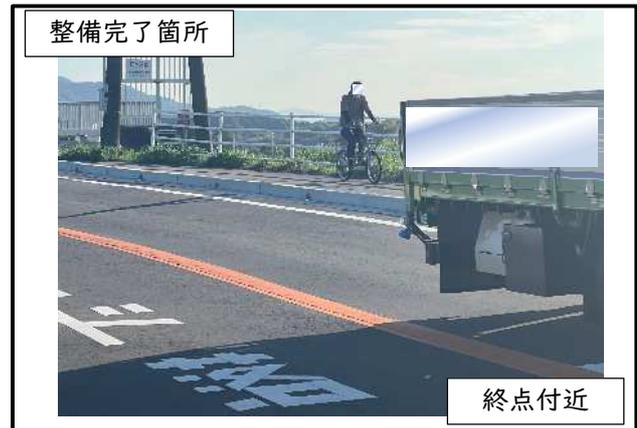
- 建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (+1億円)
- 橋梁拡幅工の施工方法変更に伴う工事費の増 (+1億円)
(県道及び河川堤防の生活道路の規制を回避するため、河川内に施工ヤードを設置したことに伴う増)

(工期の延伸)

- 用地交渉難航に伴う事業期間の延長

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

現地状況



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業を巡る社会経済情勢等の変化

○自動車交通量や自転車・歩行者数が多く、尚も通学路として利用されており、依然として事業の必要性は高い。

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図る。
- 工事で発生する残土を他工区の盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

対応方針(事業課案)

○歩道整備により「交通の円滑化」「安全性の向上」が図られることから事業の必要性に変わりはない。

○事業の進捗率は、事業費ベースで約87%[約8.4億円/約9.7億円]
(令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は約98%となっている。

○要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。



事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

令和6年度公共事業再評価諮問地区「継続・中止」理由書等

(課名：道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路改良事業 一般国道444号(佐賀福富道路)</p>
<p>継続・中止理由</p>	<p>○佐賀福富道路の整備により、産業・観光の活性化や交通渋滞緩和および交通の円滑化、安全性の向上が図られことから、事業の必要性に変わりはない。</p> <p>○費用対効果についても、B/C=1.0以上(1.7)が確保されている。</p> <p>○事業進捗率は、事業費ベースで約91%[約620.0億円/約627.0億円](令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は100%となっている。</p> <p>○各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。</p> <p>以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。</p>
<p>B/Cの算出方法</p>	<p>【便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 1,176.3億円 ・ 走行経費減少便益 = 319.8億円 ・ 交通事故減少便益 = 63.3億円 <p style="text-align: right;">合計 1,559.4億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 873.8億円 ・ 維持管理費 = 22.6億円 <p style="text-align: right;">合計 896.4億円</p> <p>費用便益 B/C = 1,559.4 / 896.4 = 1.7 (社会的割引率4%)</p> <p>【参考値】</p> <p>費用便益 B/C = 2.4 (社会的割引率2%) 費用便益 B/C = 2.8 (社会的割引率1%)</p>
<p>備考</p>	

令和6年度再評価対象箇所
(対象：令和4年度再評価実施箇所)

(佐賀県公共事業評価実施要領第2条(2)④に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
R4 再評価 時点		道路改良事業 一般国道444号 (佐賀福富道路) 事業主体：県 事業地：佐賀市嘉瀬町中原～杵島郡白石町福富	有明海沿岸道路は、熊本県熊本市から佐賀県鹿島市に至る有明海沿岸地域の各都市の交流促進及び佐賀空港と三池港との連携強化を図る高規格道路である。 そのうち佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、平行する一般国道444号の交通渋滞及び交通隘路区間の回避を目的とした10.5kmの2車線のバイパスを施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。	全体事業費：620.0億円 工期：H13～R7 事業内容 延長：10.5km 幅員：7.0(10.5)m 【暫定2車整備】 改良工 L=10.5km 橋梁工 7橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 一式 用地補償 一式	R3末進捗率：約90% (事業費ベース) (年平均進捗率：約5%) ○用地補償契約率：100% ○平成23年3月 嘉瀬南IC～久保田IC間のL=1.7kmを供用開始 ○平成25年3月 久保田IC～芦刈IC間のL=2.8kmを供用開始 ○平成28年3月 芦刈IC～芦刈南IC間のL=2.0kmを供用開始 ○令和3年7月 芦刈南IC～福富北IC～福富IC間のL=3.5kmを供用開始	・(国)大川佐賀道路は、平成21年3月に一部一般道を利用した供用開始を行い、随時延伸が行われている。令和4年11月には諸富ICが開通。	・工期延長による便益の減少 B/C=1.9	(コスト削減) ・全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定する。 ・他工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後5年間で経過する前に事業費増額を行うため	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・B/Cは1.0以上(1.9)が確保されている。 ・要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。
				R6 再評価 時点		全体事業費：627.0億円 工期：H13～R10 事業内容 延長：10.5km 幅員：7.0(10.5)m 【暫定2車整備】 改良工 L=10.5km 橋梁工 7橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 一式 用地補償 一式	R5末進捗率：約91% (事業費ベース) (年平均進捗率：約4%) ○用地補償契約率：100%	○前回評価時から大きな変化はないが、佐賀道路や大川佐賀道路の整備により、今後更なる利用者の増加が見込まれることから、依然として事業の必要性は高い。	・事業費増に伴う費用の増加 B/C=1.7 B/Cは1.0を上回っている。 【参考値】 B/C=2.4 (社会的割引率2%) B/C=2.8 (社会的割引率1%)	同上
理由等				(事業費) ・建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (事業期間) ・軟弱地盤対策工法の検討に係る事業期間の延伸 ・函渠工の計画変更に伴う事業期間の延伸						

令和6年度 再評価委員会

道路改良事業

一般国道444号（佐賀福富道路）

佐賀市嘉瀬町～杵島郡白石町

再評価理由

再評価実施後5年が経過する前に工期延長及び事業費を増額するため

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県 県土整備部 道路課

位置図

熊本県熊本市と佐賀県鹿島市を結ぶ高規格道路



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

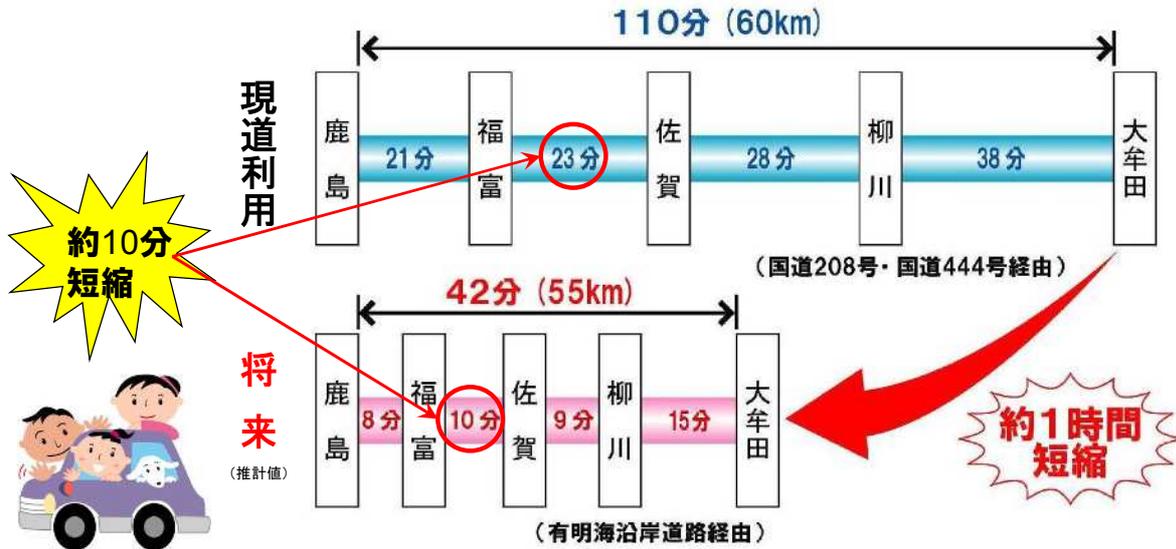
事業目的

人・モノ・地域がさらに近くなり県民の生活がますます便利に!

○移動時間が短くなり、

自動車通勤などの日常生活

が便利になります。



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業目的

○輸送距離が短縮され、農産物や海産物などの産品を、遠くまで鮮度を保ったまま出荷できます。

新たな地域の活性化に



れんこん



まぐろ



まぐろ

○今まで使っていた道路の交通量が減少します。

渋滞の緩和



約2割減少
(約△3,600台/12h)



現道からの交通転換



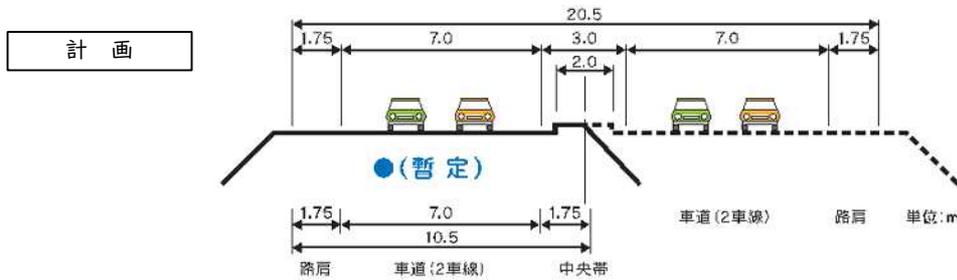
〈有明海沿岸道路〉



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業概要

	前回再評価（令和4年度）	今回
全体事業費	620.0億円	627.0億円
工期	平成13年度～令和7年度	平成13年度～令和10年度
延長	10.5km	10.5km
幅員	7.0（10.5）m	7.0（10.5）m
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・改良工 L=10.5km ・橋梁 N=7橋（50m以上） ・舗装工 L=10.5km ・測量試験 一式 ・用地補償 一式 	<ul style="list-style-type: none"> ・改良工 L=10.5km ・橋梁 N=7橋（50m以上） ・舗装工 L=10.5km ・測量試験 一式 ・用地補償 一式
費用対効果	1.9	1.7



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業の進捗状況



	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費（億円）	572.2	4.0	50.8
進捗率（%）	91.3	91.9	100.0
用地進捗率（%）※	100.0	100.0	100.0

※面積ベース

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由(1/2)

(事業費の増額)

○建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (+7億円)

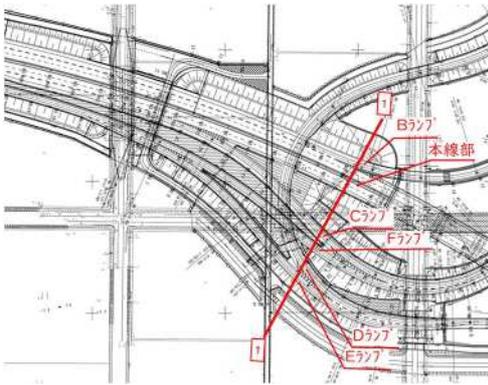
(事業期間の延伸)

- ①軟弱地盤対策工法の検討に係る事業期間の延伸
- ②函渠工の計画変更に伴う事業期間の延伸

①軟弱地盤対策工法の検討に係る事業期間の延伸

・本事業の軟弱地盤対策工法については、これまで得られた単路部の知見や実績をもとに検討を行っているが、(仮)佐賀JCT部は、複数のランプの盛土が近接している構造であり、検討に時間を要しているため。

■平面図

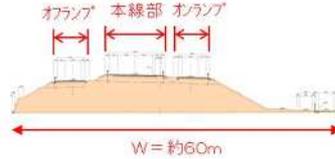


■横断面図

【JCT部(1-1断面)】



【単路部】



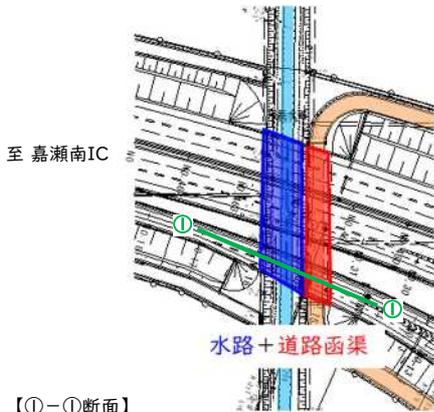
Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由(2/2)

② 函渠工の計画変更に伴う事業期間の延伸

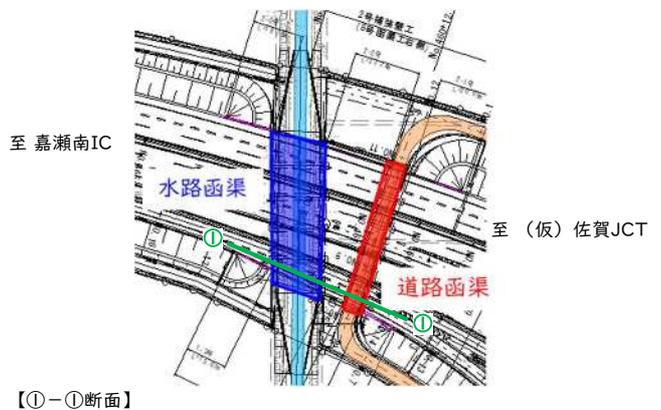
- ・当該函渠は、水路函渠と道路函渠を集約した3連函渠による計画としていた。
- ・詳細設計の結果、土被りが不足したため、水路函渠と道路函渠の分割により土被りを確保することとしたが、分割により工事の期間が延長となるため。

■3連函渠

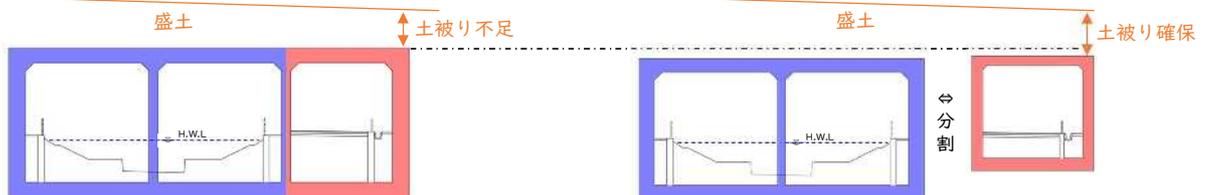


【①-①断面】

■分割後

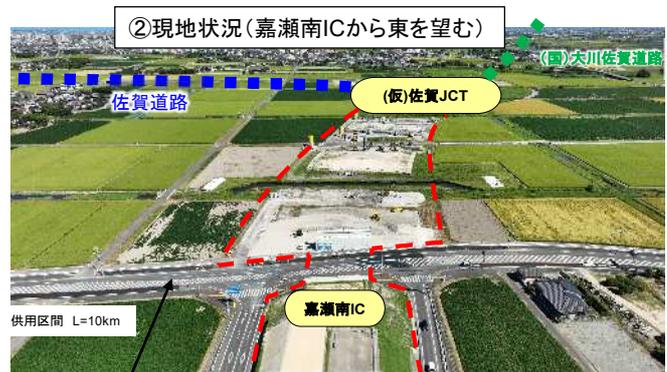


【①-①断面】



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

現地状況



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

至 白石町

事業を巡る社会経済情勢等の変化

○前回評価時から大きな変化はないが、佐賀道路や大川佐賀道路の整備により、今後更なる利用者の増加が見込まれることから、依然として事業の必要性は高い。

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

費用対効果の要因の変化

- 事業内容の見直し（事業費の増加）に伴う費用の増
- 事業期間の延伸による便益の減

$$\text{費用対効果 (B/C)} = \frac{\text{総便益 (B) } 1,559 \text{ 億円}}{\text{総費用 (C) } 896 \text{ 億円}} = 1.7$$

※社会的割引率4%

【参考値】

【社会的割引率2%】費用対効果 (B/C) =	2.4
【社会的割引率1%】費用対効果 (B/C) =	2.8

※基準年（令和6年度）における現在価値

<参考>

○総便益 (B) = 走行時間短縮便益 + 走行経費縮小便益 + 交通事故減少便益

○総費用 (C) = 事業費 + 維持管理費 + 道路構造物の更新費

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定する。
- 他工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

対応方針(事業課案)

- 道路の整備により、「産業・観光の活性化」や「交通の円滑化」及び「安全性の向上」が図られることから、事業の必要性に変わりはない。
- 費用対効果についても、B/C=1.0以上(1.7)が確保されている。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約91%[約572.2億円/約627.0億円](令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は100%となっている。
- 各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。



事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい

令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

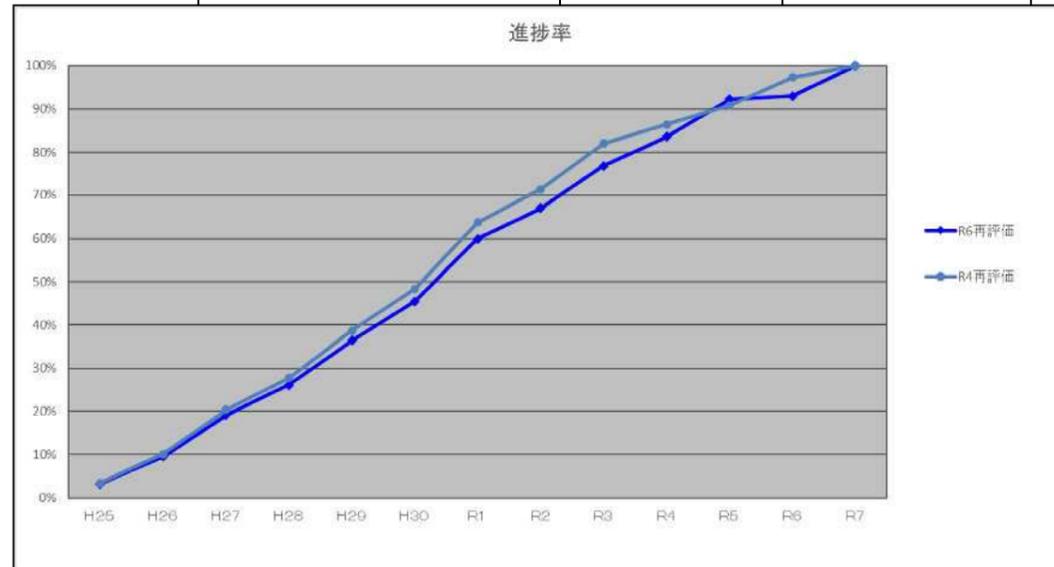
(課名：道路課)

事業名 (路河川等名)	道路橋りょう補助事業 主要地方道 佐賀外環状線 (徳万南工区)
継続・中止理由	<p>○自転車歩行者道の設置により、交通の円滑化と自転車歩行者の安全性の向上が図られることから、事業の必要性に変わりはない。</p> <p>○事業進捗率は、事業費ベースで約92% [約25.1億円/約27.2億円](令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は約100% (面積ベース) となっている。</p> <p>○早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。</p> <p>以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。</p>
備考	

令和6年度再評価対象箇所
(対象：令和4年度再評価実施箇所)

(佐賀県公共事業評価実施要領第2条(2)④に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	
R4 再評価 時点		道路橋りょう補助事業 主要地方道 佐賀外環状線 (徳万南工区) 事業主体：県 事業地：佐賀市 久保田町徳万～ 新田	当路線は、佐賀市を中心として、その周辺部を環状する幹線道路である。 当該区間は、通学路に指定されているが、歩道が無い又は1m未満と非常に狭く、通勤通学時間帯には車両と自転車・歩行者が交錯するなど、安全かつ円滑な交通に支障をきたしている状況である。 このため、交通の円滑化及び自転車歩行者の安全性の向上を目的として、整備を実施するものである。	全体事業費：25.6億円 工期：H25～R7 工事内容 延長 L=780m 幅員 W=6.5 (15.0) m 改良工 L=780m 函渠工 N=4基 舗装工 L=780m 測量試験 一式 用地補償 一式	R3末進捗率：約82% (事業費ベース) (年平均進捗率：約9%) 用地補償契約率：約99% (面積ベース)	有明海沿岸道路の福富ICが令和3年7月に開通したことに伴い、交通量が増加しており、依然として事業の必要性は高い。		(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図る。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	事業採択後10年を経過するため	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。	
				R6 再評価 時点	全体事業費：27.2億円 工期：H25～R7 工事内容 延長 L=780m 幅員 W=6.5 (15.0) m 改良工 L=780m 函渠工 N=4基 舗装工 L=780m 測量試験 一式 用地補償 一式	R5末進捗率：約92% (事業費ベース) (年平均進捗率：約9%) 用地補償契約率：約100% (面積ベース)	同上		(コスト削減) ・他の工事にて使用した仮設ガードレールを活用することによる仮設工事費の削減。 (代替案の検討) ・特になし	前回再評価時より事業費増額のため再評価	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・用地買収も完了しており、今後も円滑な事業遂行が確保されている。 ・早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。
				理由等	(事業費) ・関係機関(警察、小中学校)との協議に伴う安全費(交通誘導員等)の増 ・電柱移設に伴う補償費の増 ・資材等の物価高騰に伴う工事費の増 ・建設発生土の他工事への有効活用(運搬距離延伸)に伴う工事費の増						



令和6年度 再評価委員会

道路橋りょう補助事業

主要地方道 さが そと かんじょう 佐賀外環状線 とく まん みなみ (徳万南工区)

さが くぼた とく まん しん でん
佐賀市久保田町徳万～新田

再評価理由

再評価実施後5年が経過する前に事業費を増額するため

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部 道路課

位置図



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業目的



歩道が未整備
(路肩狭小)



歩道が狭小

自転車歩行者道の整備により

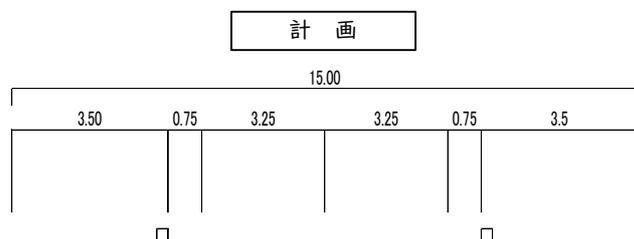
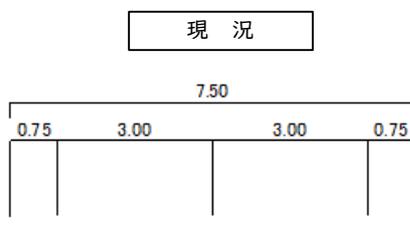
交通の円滑化

安全性の向上

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

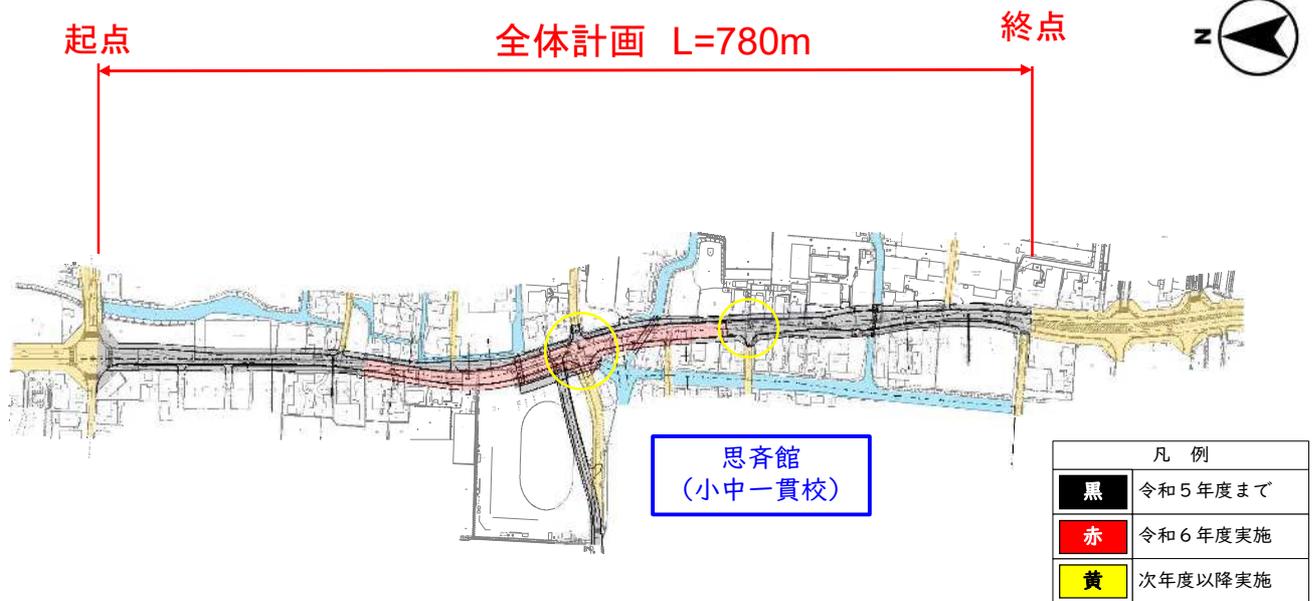
事業概要

	前回再評価（令和4年度）	今回
全体事業費	25.6億円	27.2億円
工期	平成25年度～令和7年度	平成25年度～令和7年度
延長	780m	780m
幅員	6.5（15.0）m	6.5（15.0）m
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・改良工 L=780m ・函渠工 N=4箇所 ・舗装工 L=780m ・測量試験 一式 ・用地補償 一式 	<ul style="list-style-type: none"> ・改良工 L=780m ・函渠工 N=4箇所 ・舗装工 L=780m ・測量試験 一式 ・用地補償 一式



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業の進捗状況



	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費 (億円)	25.1	0.2	1.9
進捗率 (%)	92.2	93.0	100.0
用地進捗率 (%) ※	100.0	100.0	100.0

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

※面積ベース

事業内容の見直し理由

(事業費の増額)

- ・ 関係機関（警察・小中学校）との協議に伴う安全費（交通誘導員等）の増
(+0.2億円)
- ・ 電柱移設に伴う補償費の増（仮移設が必要となったため） (+0.2億円)
- ・ 資材等の物価高騰に伴う工事費の増。 (+0.4億円)
- ・ 建設発生土の他工事への有効活用（運搬距離延伸）に伴う工事費の増
(+0.2億円)

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

現地状況



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

現地状況



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業を巡る社会経済情勢等の変化

○前回から大きな変化はないが、有明海沿岸道路の福富ICが令和3年7月に開通したことに伴い、交通量が増加していること、また通学路として利用されていることから依然として事業の必要性は高い。

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

○他の工事にて使用した仮設ガードレールを活用することによる仮設工事費の縮減。

(代替案の検討)

○特になし

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

対応方針(事業課案)

- 自歩道整備により「交通の円滑化」「安全性の向上」が図られる。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約92%[約25.6億円/約27.2億円]
(令和5年度末)であり、そのうち用地進捗率は約100%となっている。
- 早期整備が望まれており、今後の円滑な事業執行が可能である。



事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい

令和6年度公共事業再評価諮問地区「継続・中止」理由書等

(課名： 道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路整備交付金事業 一般県道 佐賀環状東線 (牛島工区)</p>
<p>継続・中止理由</p>	<p>○現道拡幅(4車線化)により、交通の円滑化や安全性の向上、また、緊急輸送道路としての機能向上が図られる。</p> <p>○費用対効果についても、B/C1.0以上(B/C=1.6)が確保されている。</p> <p>○事業進捗率は事業費ベースで約94%[約30.0億円/約31.8億円](令和5年度末)であり、用地進捗率は100%となっている。</p> <p>○地元の協力により、用地買収も完了していること、また、市街地の工事であるにもかかわらず、周辺の店舗の協力も得られており、今後の円滑な事業執行が可能である。</p> <p>○よって、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>【便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 70.0 億円 ・ 走行経費縮小便益 = 3.7 億円 ・ 交通事故減少便益 = 0.7 億円 <li style="text-align: right;">合計 = 74.0 億円 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 39.0 億円 ・ 維持修繕費 = 7.0 億円 <li style="text-align: right;">合計 = 46.0 億円 <p>費用便益 B/C = 74.0/46.0 = 1.6 (社会的割引率4%)</p> <p>【参考値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 費用便益 B/C = 2.5 (社会的割引率2%) 費用便益 B/C = 3.2 (社会的割引率1%)
<p>備考</p>	

令和 6 年度再評価対象事業
(対象：令和3年度再評価実施事業)

(佐賀県公共事業評価実施要領第 2 条 (2) ④に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)																																																																												
R3 再評価 時点	R3 再評価 時点	道路整備交付金事業 一般県道 佐賀環状東線 (牛島工区) 事業主体：県 事業地：佐賀市 巨勢町牛島	県道佐賀環状東線は、国道34号（北部バイパス）、国道208号（西部環状線及び南部バイパス）と併せて佐賀市の環状道路の一部であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。 当該区間は、交通量が非常に多く、牛島宿交差点及び牛島下交差点については、主要渋滞箇所にも指定されている。また、歩道幅員が狭い区間もあり、歩行者、自転車等の通行に支障をきたしているため、現道拡幅（4車線化）により、交通の円滑化や安全性の確保、また、緊急輸送道路としての機能向上を図るものである。	全体事業費：31.2億円 工期：H12～R6 事業内容 延長 L=760m 幅員 W=13.0(25.0)m 改良工 L=760m 舗装工 L=760m 橋梁 1橋 測定 一式 用地補償 一式	R2末進捗率：約79% (事業費ベース) (年平均進捗率 4%) 用地補償契約率：100%	沿道には新たな店舗が出店し、世帯数も未だ増加傾向にあるため、今後も交通量の増加が見込まれる。	事業費増に伴う費用の増加と工期延伸による便益の減少 B/C=1.9	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図る。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後5年間に経過する前に事業費増額及び事業期間の延伸を行うため	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・B/C1.0以上(B/C=1.9)が確保されている。 ・用地買収も完了しており、今後も円滑な事業執行が確保されている。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。																																																																												
				R6 再評価 時点	全体事業費：31.8億円 工期：H12～R7 事業内容 延長 L=760m 幅員 W=13.0(25.0)m 改良工 L=760m 舗装工 L=760m 橋梁 1橋 測定 一式 用地補償 一式	R5末進捗率：約94% (事業費ベース) (年平均進捗率 4%) 用地補償契約率：100%	沿道には新たな店舗が出店し、世帯数も未だ増加傾向にあるため、今後も交通量の増加が見込まれる。 また、有明海沿岸道路 大野島IC～諸富IC間が令和4年度に開通し、交通量の増加が見込まれる。	事業費増に伴う費用の増加と工期延伸による便益の減少 B/C=1.6 【参考値】 B/C=2.5 (社会的割引率2%) B/C=3.2 (社会的割引率1%)	(コスト削減) ・今回工事で発生した石材(捨石)を他工事に流用する。 ・他の工事で使用した仮設ガードレールを再利用する。 (代替案の検討) ・特になし	前回再評価時より工期延長及び事業費増額のため再評価	継続 (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・B/C1.0以上(B/C=1.6)が確保されている。 ・用地買収も完了しており、今後も円滑な事業執行が確保されている。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。																																																																											
理由等	理由等			(事業費) ・仮設鋼矢板引き抜き時の地盤変状及び隣接する家屋や埋設物(送水管)への影響対策(仮締切鋼材存置)追加に伴う工事費の増。 ・建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (工期) ・場所打杭工施工時に交通混雑が懸念されるため、既設上部工を施工ヤードとした。既設上部工を削孔する必要があり、期間を要したため。	<p style="text-align: center;">進捗率</p> <table border="1"> <caption>進捗率 (進捗率)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3再評価 (進捗率)</th> <th>R6再評価 (進捗率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H13</td><td>5%</td><td>-</td></tr> <tr><td>H14</td><td>10%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>H15</td><td>12%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>H16</td><td>15%</td><td>15%</td></tr> <tr><td>H17</td><td>18%</td><td>18%</td></tr> <tr><td>H18</td><td>20%</td><td>20%</td></tr> <tr><td>H19</td><td>25%</td><td>25%</td></tr> <tr><td>H20</td><td>30%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>H21</td><td>35%</td><td>35%</td></tr> <tr><td>H22</td><td>40%</td><td>40%</td></tr> <tr><td>H23</td><td>45%</td><td>45%</td></tr> <tr><td>H24</td><td>50%</td><td>50%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>55%</td><td>55%</td></tr> <tr><td>H26</td><td>60%</td><td>60%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>65%</td><td>65%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>70%</td><td>70%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>75%</td><td>75%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>80%</td><td>80%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>85%</td><td>85%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>90%</td><td>90%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>95%</td><td>95%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>98%</td><td>98%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>99%</td><td>99%</td></tr> <tr><td>R6</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> <tr><td>R7</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>		年度	R3再評価 (進捗率)	R6再評価 (進捗率)	H13	5%	-	H14	10%	10%	H15	12%	12%	H16	15%	15%	H17	18%	18%	H18	20%	20%	H19	25%	25%	H20	30%	30%	H21	35%	35%	H22	40%	40%	H23	45%	45%	H24	50%	50%	H25	55%	55%	H26	60%	60%	H27	65%	65%	H28	70%	70%	H29	75%	75%	H30	80%	80%	R1	85%	85%	R2	90%	90%	R3	95%	95%	R4	98%	98%	R5	99%	99%	R6	100%	100%	R7	100%	100%		
年度	R3再評価 (進捗率)	R6再評価 (進捗率)																																																																																				
H13	5%	-																																																																																				
H14	10%	10%																																																																																				
H15	12%	12%																																																																																				
H16	15%	15%																																																																																				
H17	18%	18%																																																																																				
H18	20%	20%																																																																																				
H19	25%	25%																																																																																				
H20	30%	30%																																																																																				
H21	35%	35%																																																																																				
H22	40%	40%																																																																																				
H23	45%	45%																																																																																				
H24	50%	50%																																																																																				
H25	55%	55%																																																																																				
H26	60%	60%																																																																																				
H27	65%	65%																																																																																				
H28	70%	70%																																																																																				
H29	75%	75%																																																																																				
H30	80%	80%																																																																																				
R1	85%	85%																																																																																				
R2	90%	90%																																																																																				
R3	95%	95%																																																																																				
R4	98%	98%																																																																																				
R5	99%	99%																																																																																				
R6	100%	100%																																																																																				
R7	100%	100%																																																																																				

令和6年度 再評価委員会

道路整備交付金事業

一般県道 さが かんじょうひがし うしじま 佐賀環状東線（牛島工区）

さが こせ うしじま 佐賀市巨勢町牛島地内

再評価理由

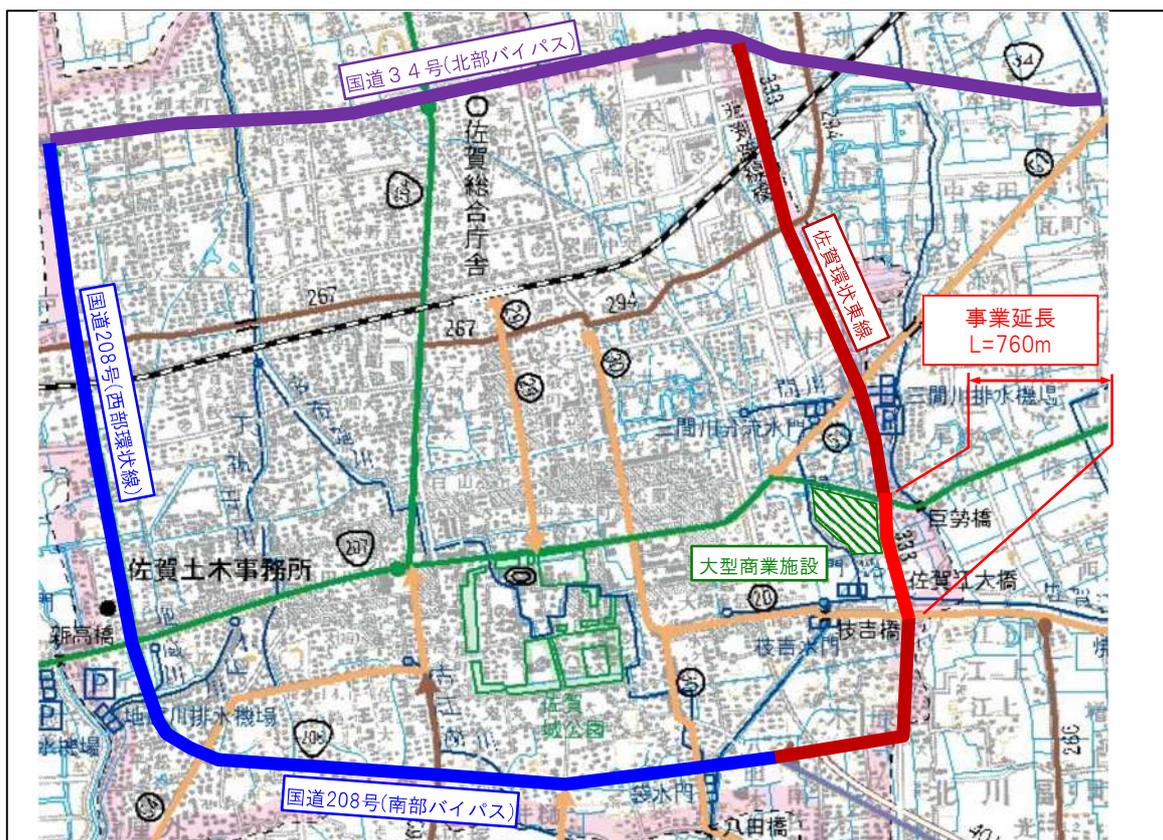
再評価実施後5年が経過する前に工期延長及び
事業費を増額するため

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部 道路課

位置図



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業目的

渋滞により

円滑な通行に支障を来している！



歩道幅員が狭く自転車利用者が危険にさらされている！



現道拡幅(4車線化)整備により

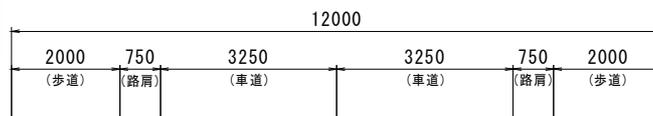
交通の円滑化、安全性の向上

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業概要

	前回再評価 (令和3年度)	今回
全体事業費	31.2億円	31.8億円
工期	平成12年度～令和6年度	平成12年度～令和7年度
延長	760m	760m
幅員	13.0 (25.0) m	13.0 (25.0) m
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 改良工 L=760m 舗装工 L=760m 橋梁 N=1橋 測量試験 一式 用地補償 一式 	<ul style="list-style-type: none"> 改良工 L=760m 舗装工 L=760m 橋梁 N=1橋 測量試験 一式 用地補償 一式
費用対効果	1.9	1.6

現況



計画



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業の進捗状況



	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費 (億円)	30.0	0.9	0.9
進捗率 (%)	94.3	97.2	100.0
用地進捗率 (%) ※	100.0	100.0	100.0

※面積ベース

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由

(事業費の増額①)

○仮設鋼矢板引き抜き時の地盤変状及び隣接する家屋や埋設物（送水管）への影響対策（仮締切鋼材存置）追加に伴う工事費の増。（+0.2億円）



Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由

(事業費の増額②)

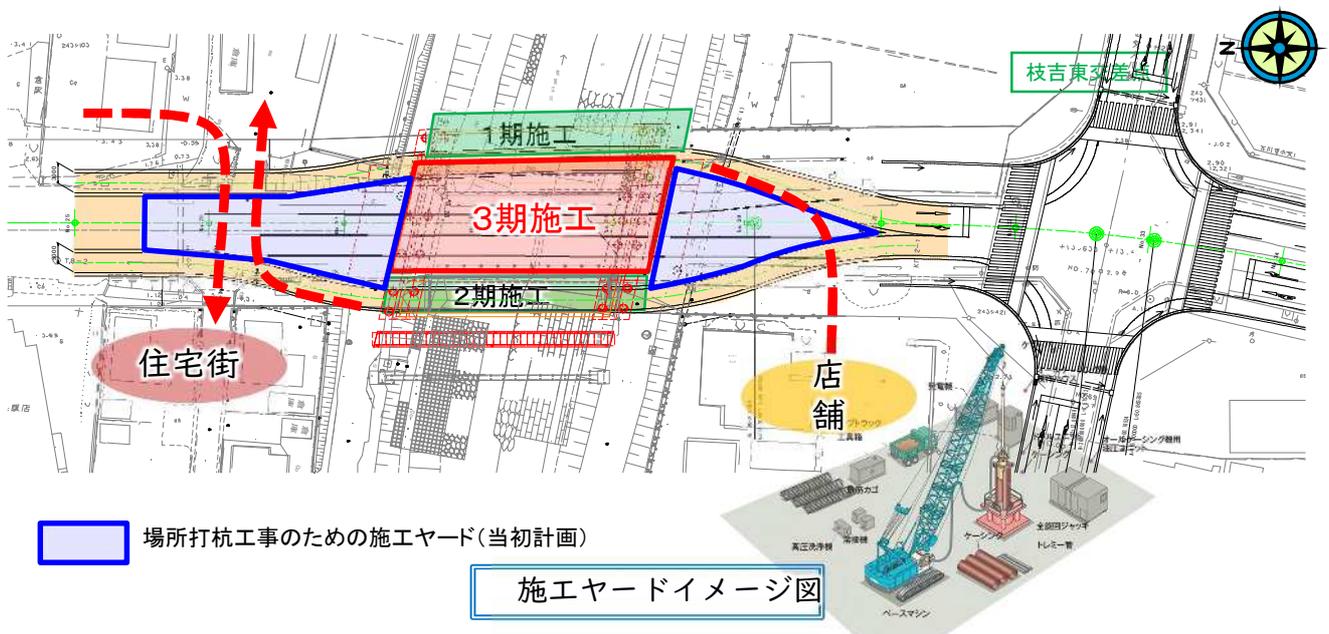
○建設資材の高騰及び労務費上昇による増 (+0.2億円)

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

事業内容の見直し理由

(工期の延伸)

○場所打杭工施工時は道路中央に施工ヤードを必要とするが、沿線土地への乗り入れの支障となることで交通混雑が懸念された。
施工計画について再検討した結果、既設上部工を施工ヤードとした。
これに伴い既設上部工を削孔する必要が生じたことによる工期の延伸。



事業を巡る社会経済情勢等の変化

○沿道には新たな店舗が出店し、世帯数も未だ増加傾向にあるため、今後も交通量の増加が見込まれる。

○有明海沿岸道路 大野島IC～諸富IC間が令和4年度に開通し、市街地への流入を抑制する環状道路として交通量の増加が見込まれる。

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

費用対効果

○B/Cは1.0を上回っている。

$$\text{費用対効果 (B/C)} = \frac{\text{総便益 (B)} \quad 74.5 \text{ 億円}}{\text{総費用 (C)} \quad 46.8 \text{ 億円}} = 1.6$$

※社会的割引率4%

【参考値】

$$\begin{aligned} \text{【社会的割引率2\%】費用対効果 (B/C)} &= 2.5 \\ \text{【社会的割引率1\%】費用対効果 (B/C)} &= 3.2 \end{aligned}$$

※基準年（令和6年度）における現在価値

<参考>

○総便益 (B) = 走行時間短縮便益 + 走行経費縮小便益 + 交通事故減少便益

○総費用 (C) = 事業費 + 維持管理費 + 道路構造物の更新費

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 今回工事で発生した石材（捨石）を他工事に流用する。
- 他の工事で使用した仮設ガードレールを再利用する。

(代替案の検討)

- 特になし

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

対応方針(事業課案)

- 現道拡幅（4車線化）により、交通の円滑化や安全性の向上、また、緊急道路としての機能向上が図られる。
- 費用対効果についても、B/C=1.0以上（1.6）が確保されている。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約94%[約30.0億円/約31.8億円]（令和5年度末）であり、用地進捗率は約100%となっている。
- 地元の協力により、用地買収も完了していること、また、市街地の工事であるにも関わらず、周辺の店舗の協力も得られており、今後の円滑な事業執行が可能である。



事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。

Copyright © 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.